

平成27年 2月12日

2月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から3年11ヶ月が経過いたしました。が、未だ、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけし続けておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは4点お話しをさせていただきます。
- まずは、地下式フィルタベント設備に関する柏崎市からの事前了解についてです。

地下式フィルタベント設備につきましては、一昨年12月24日に事前了解願いを提出させていただいておりましたが、先週2月3日に柏崎市より事前了解をいただきました。

地下式フィルタベント設備につきましては、引き続き、詳細設計を進めてまいります。
- 次に、IAEAによる運転安全評価レビューについてです。

先週2月2日～5日の4日間にかけて、IAEAによる運転安全評価レビューの実施に向けた準備会合が行われ、本レビューの実施時期や内容に関して調整を行うとともに、安全対策の実施状況など、事前の現場視察などをいただいたところです。

本レビューにつきましては、本年6月29日～7月13日にかけて実施されることとなりました。

このレビューにおいては、私どもがこれまでに取り組んできております福島事故の教訓や反省を踏まえたハード・ソフト両面の安全対策や発電所の活動全般について、国際的な知見や経験に基づき、客観的に評価いただきたいと思いますと考えております。

その上で、I A E Aからのご指摘や提言を踏まえて、発電所の安全性のさらなる向上・追求に弛まぬ努力をしまいる所存です。

- 次に、発電所敷地内外で実施しております地質調査の状況についてです。

敷地内で実施しております1～4号機側の立坑及び敷地外で実施しております刈羽村村内におけるボーリングにつきましては、追加分の作業を引き続き行っている状況です。

現場の作業と並行して、これまでに得られたデータの評価を順次進めており、先週より原子力規制庁のヒアリングにおいて説明をさせていただいているところです。今後、評価が取りまとまった段階で、原子力規制委員会の審査会合にてご報告、ご説明してまいりたいと考えております。

- 最後に、「地域の皆さまへの説明会」の開催結果についてです。

先月22日に柏崎市にて、翌23日に刈羽村にて、地域の皆さまへの説明会を開催いたしました。両日で200名を上回る皆さまにご参加いただき、これまでの原子力規制委員会における新規制基準への適合性確認の審査への対応状況についてご説明させていただきました。

ご参加いただいた皆さまからは、事故時の避難に関することや、フィルタベント設備の性能をはじめとした安全性向上に向けた取り組みや、福島第一原子力発電所の事故原因に関するご質問などをいただきました。

発電所の安全対策への取り組みにつきましては、今後とも、地域の皆さまにご理解をいただけますよう様々な形で丁寧にご説明を続け、ご安心いただけるように努めてまいります。

- 本日、私からは以上です。

以 上